

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズすてっぷ あいのうら		
○保護者評価実施期間	令和 7年 9月 19日	～	令和 7年 10月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 23	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	令和 7年 9月 19日	～	令和 7年 10月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士の他に作業療法士(OT)が配置されており、より適切 なりハビリテーションを行うことが出来る。	個別支援計画書、専門的支援計画書に沿って、個々の障がいの 特性に応じた働きかけを行い、「健康・生活」「運動・感覚」 「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社 会性」の5領域に渡る支援が行われている。	全職員が常に情報交換を行いながら、5領域全てを含めた総合 的な支援の提供を継続していく。
2	充実した支援プログラムが構築出来ている。	児童発達支援と放課後等デイサービスの両方を行っている多機 能事業所であり、年齢差のある子ども達が同じ空間で共に過 ごし活動することで社会性・協調性・思いやりの心を育めるよう 支援を行っている。	支援プログラムに沿って、季節行事やその他の活動に参加 し、事業所外での体験活動などたくさんのに参加し経験を積 み重ねることで、社会のルールやマナー・協調性を養えるよ うな支援を引き続き行っていく。
3	社内・社外における職員研修が充実している。	年に3回社内の全事業所が集まり全体研修を実施している。そ れぞれの事業所や専門職が活動報告を行ったり、また外部講師 を招いての勉強会を開催し、知識や技術の習得・研鑽に努めて いる。	研修・勉強会には今後も積極的に参加し、学んだ内容は事業 所内で伝達講習を行い情報共有を図り業務に反映していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が主要道路に面しており、車や自転車・歩行者等の往来 が激しく送迎車の出し入れが難しい。 駐車スペースが狭く、数台しか駐車できないので来客者・保護 者の訪問時に不便をかけてしまう。	街路樹や植え込みが生い茂っており、近隣の建物・フェンス等 で左右の見通しが悪く、出車しようとすると歩道を通る歩行者 や自転車が急に飛び出て来ることもありぶつかりそうになり危 険を感じたことがある。	街路樹や植え込み・緑石の整備等、危険要因の洗い出しとリ スクの低減措置を図る。
2			
3			